



来年に向け行動開始

今回の展即会には、ケヤキ、タモ、ナラ、セン等1,739㎡が出品された。2日に開催された入札会では、景況不振を反映して落札価格が伸び悩む面もあったが、約3億円を売り上げた。山形理事長は「中国材、国有林、道有林は昨年より質が良く、単価的にも良かったが、一般材の質が今一つで買方の反応が鈍かった。出品者には量より質でお願いして行きたい」と語り、早くも来年に向け行動を開始するとのこと。

木を植えよう



出席者名簿

中国側			
劉	墨	吉林省林業庁庁長	
朱	遠	遼寧省土産進出口公司總經理	
洪	元	吉林省林業進出口公司總經理	
馮	順	吉林省離水河林業局局長	
邵	長	遼寧省土産進出口公司木材部經理	
李	國	吉林省林業進出口公司部副經理	
翟	永	遼寧省土産進出口公司木材部業務員	
日本側			
高	三	静岡県木材協同組合連合会会長	
山	形	静岡県内外広葉樹協同組合理事長	
柳	田	同	副理事長
小	澤	同	同
高橋	正一郎	富士物産公易榊社長	
齋藤	芳光	全国木材組合連合会企画部長	
出	星	静岡県木材(協)連合会専務理事	
通訳			
佐藤	豊	富士物産公易榊	(敬称略、順不同)

(敬称略、順不同)

「かトラック。運搬は山貨車、トラクター、トラックを使う。一部の高い山では架線を使用、それも使えないところでは人力。」
(高橋) 昨日の静岡県庁表敬訪問の際、中国では三〇万人の山林労働者がいると伺ったが、以前、それとは逆に山林労働者が不足して困っているという話を聞いたことがある。日本では、山林労働者が減少しており、素材生産は一番頭の痛い問題だが、中国ではその辺どうか？
(劉) 三〇万人というのは、林業公安関係、パトロール隊など林業関係者全てを含めた数。林業関係の仕事場は多いが、一番つらくて、汚い仕事は山に行つて木を伐ること。中国の場合、親の職業を子供が継ぐのが普通だが、若い人の中には「山の仕事はしたくない」と考えている人もある。しかし、まだ不足するところまではいつていない。
 若い世代には林業関係の教育もしており、「国、自然に対して良いことをしている」、「こういう仕事は一定の人間が行わなくては、人間として生きていけない」、「誰かがやらねばならない」と教えている。

(高橋) 日本では、林業高校の卒業生でも殆ど林業関係には就職しない。
 林業は大切で「誰かがやらねば」と考えても、「私がやろう」という人がいない。
(劉) 誰しも楽で、給料が良く、汚れない仕事を求めるが、これは教育次第。吉林省には林業大学があるが、生徒の募集条件として、林業関係の仕事に配属されることを条件に入学させる。
樹種——他にも目を
(高橋) 最後に、静岡県の木材業界へのご希望は？
(馮) 静岡の先進工場を見学して、付加価値のある加工木製品、板材に感心し、日本では質の良い原木を量的に必要としていることを感じた。しかし、離水河の林業局としても年々原木の数量が減少しており、皆さんが満足できるように提供するには、いろいろ困難がある。これまで吉林省への輸出原木の希望は、ナラ、タモが多く、要求の径級も次第に大きくなっていく。ニレ、クルミ、カエデ、シナも良いものがあるので、そちらにも目を向けていただきたい。
(高橋) 質の良い原木の提供を今後共よろしく願いたい。本日はありがとうございました。

■ 劉林業庁長

1933年生まれ。趣味は音楽を聞くこと。特に外国の名曲が好き。日本の曲では「北国の春」、中国では民謡が好き。血液型A B。



この人と30分

ぶらり訪問⑪



林業教育に自信

中国吉林省林業庁

庁長 劉 墨 林 氏

植林——国策として力を

(高橋会長) 本日は、中国吉林省の林業事情と今後の展望についてお伺いしたい。

まず最初に、吉林省における森林資源は、原生林の広葉樹主体と伺っているが、針葉樹は全くないのか？

(劉林業庁長) 吉林省の森林面積は約七・五億㎡、その八割がナラ、タモ、シナ、クルミ、キハダ、ニレなどの広葉樹。針葉樹は二割で、ベニマツ、カラマツ、クモスギなど。吉林省離水河は針葉樹の産地で、特にベニマツが良い。

かつて吉林省では木材伐採量が、植林量を上回った時期があったが、現在では毎年約五〇〇万㎡の伐採量

に對し、植林は面積的にそれ以上行うよう、国策として力を入れている。植林する樹種は、ベニマツ、クモスギ、ナラなど。また、吉林省の中西部では、主に防風林としてポプラの木を多く植林している。

中国の山の緑は全体の十二・九％、吉林省は三七・八％。中国では、かつては政治運動に熱心だったが、今後は、植林あるいはその他の経済的効果のある運動をしていくようになる。

国内消費——建築材が筆頭

(高橋) 中国の住宅建築様式は日本と異なり、木材があまり使用されていないように感じるが、吉林省で生産される国内向け消費の内容は？

(劉) 中国でも輸出以外では、建築材が一番。これに製紙関係、パティクルボード等家具用材と続く。

中国は土地も広いが、人口も多い。森林資源は一人当たりに換算すれば一〇㎡にも満たず、建築用材は輸入しなくてはならない状態。

(高橋) 日本、アメリカなど、森林のあるところには製材工場が必ずあるが、中国の製材工場の分布は？

(劉) 中国の場合も、産地に製材工場がある。離水河には、年間一〇万

㎡を挽く製材工場がある。私達が今一番力を入れていることは産地の加工技術の向上。

原木——輸出量は減少

(高橋) 広葉樹の輸出については、将来的には加工まで考えられているのか？ 日本としては、上質な原木の出荷も是非お願いしたいのだが。

(劉) これからは木製品、製材関係を中心に輸出していきたい。板材、突板はすでに輸出しており、パーティクルボード、ハードボード、合板等も輸出を進めている。今後、様々な国から加工技術を勉強していきたい。しかし、しばらくは原木の出荷も行つていかねばならないと考えているので当面心配はご無用だが、近い将来、原木の輸出数量が減少することは間違いない。

山林労働者——教育で対応

(高橋) 日本は急峻な山が多く、林業の機械化が大変難しい。中国の場合、出材は機械で行うとのことだが、中国の山の状況は？

(馮離水河林業局長) 丘のような山が多く、山から降ろす時はトラクタ